

かほく議会だより

第125号

2024年10月11日



●シリーズ● 町民インタビュー

町内の事業所経営の方々に、お仕事や取り組んでいること、また議会や町へのご意見などについてインタビューしました。(記事は2～3P)
表紙写真は、事業所経営者の方々です。

コロナ禍を乗り越え前へ

町産アーモンド40kgを収穫

紙の保険証とマイナカードどうなる

8人が一般質問

2P

4P

13P

わたしの一言

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きました。

このまちのいいところ

くろだ もとよし
下工北 黒田 元喜さん

今年、谷地どんがまつりの大当番会長を務めました下工青年会の黒田と申します。

先日のどんがまつりでは皆さまのご協力のもと、何とか無事に役目を終えることができました。本当にありがとうございました。

囃子屋台巡行で町内各地を回らせていただいた際に、驚くと共に感動することがたくさんありました。各地の知り得なかった神社や歴史など河北町の魅力を再認識する良い機会になりました。そして、こんなにも町内には若くて元気のある方々がたくさんいたのかと嬉しくなりました。それもどんがまつりというひとつの伝統行事が歴代の先輩方により脈々と紡がれてきたからこそだと思います。こういった伝統行事を大切に、次世代に継承しようと頑張っている町民がたくさんいるこのまちが大好きです。



たくさんいるこのまちが大好きです。

議会では、今後も若い世代の定住や新たな若い移住者を呼び込む施策に力を入れていきたいです。

児童動物園への思い

はらだ しょうこ
高関南 原田 祥子さん

趣味の写真を撮り始めた頃、動物が好きということもあり児童動物園に行き、望遠レンズで檻の金網をばかして消し、鳥や動物を撮影していました。



その時、もっと設備を充実させ自然に近い環境で動物を飼育できれば、生き生きとした動物たちを見ることができ、多くの子ども連れの家族など、たくさんの人が集まるのではないかと感じました。

この度、動物園が整備され、オニオオハシという新しい仲間入りが決まったと言うことで、たくさんの方に来て見て欲しいという思いが強まりました。

ぜひ、可愛い動物たちのインスタフォトコンなど企画できれば、子どもも大人も楽しめる児童動物園になり、たくさんの動物たちを紹介してもらえる機会が増えると思います。

小さい頃から慣れ親しんだ自慢の児童動物園が、県内の代表的な動物園として愛され続けられるよう、これからも環境整備をよろしくお願いいたします。

編集後記

「記録的な暑さ」という言葉を毎日のように耳にして、その言葉に従うかのように、全身が汗まみれになった猛暑の夏も、やっと手加減をしてくれるようになりました。
今夏は、例年以上に熱中症になった方が多いと聞きます。
河北町では、昨年度からクーリングシエルターという暑さからの一時避難所を開設し、今年度は、さらに数を増やして開設しました。
クーリングシエルターが、暑さからの一時避難所だけではなく、皆さんの憩いの場になれば嬉しく思います。
(あだち)

コロナ禍を乗り越え前へ

今回は、町内で製造業、サービス業、建設業をそれぞれ経営されている3名の方にインタビューしました。

生きがいやご苦勞されていることをお聞かせください。

世界的な

技術にやりがい

井上さん

当社は世界で6割のシェアをほこる電子顕微鏡の精密部品、スキャニングのコイルユニットを製造している。性能、シェアとも世界的でやりがいを感じる。

コイルの製造技術に関しては、河北音響時代からのコア技術でもあり今に生きている。

仮説を立てたものがうまくいったときはうれしいが、過程では失敗がつきもので苦勞し

井上 善博さん
(株式会社スペリア)



ている。

お客様との

つながりを大切に

木嶋さん

自分で3代目になるが、お客様から感謝のお言葉をいただく、この仕事をしていて良かったと思う。

苦勞な点は、時代も変わってきている中で、お客様とのつながりを保ちつつ、会社をどう経営していくか、仕事のやり方、内容を考えていかなければいけない。

いい仕事を残す

現場をまとめる

細谷さん

代々、大工の家系。

木嶋 真一さん
(有限会社木嶋商店)



お客様から気に入ってもらえる、喜びの声聞いた時が一番うれしいし、要望されたこと以上に応えようと常に心がけている。

コロナ禍のご苦勞はありましたか。

他業種と比べ

さほど影響なし

木嶋さん

業種的にあまり影響はなかった。むしろ、家庭にいる時間が増えたことでガスの需要が増えた。

細谷 慎太郎さん
(有限会社ほそや)



工事予定を

先延ばしするお客様も

細谷さん

お客様の方から工事先延ばしの依頼があったり、関係業者にコロナの影響があったりで工事が計画通りに進まないこともあった。

国の制度の

ありがたさ痛感

井上さん

受注先の仕事が進まないため在庫が増え、受注ストップの状態が半年くらい続いた。持続化給付金や雇用調整助成金など、国の制度のありがたさを痛感した。現在は受注回復している。

時代やニーズの変化にどう対応されていますか。

お客様に寄り添う

地域密着型に

細谷さん

ハウスメーカーが増えている中で、ハウスメーカーではできないことができる強みを生かして、お客様に寄り添い、相談にのる。

新しいものばかり作るのではなく、空き家対策としても、古いものも生かせることをアピールできる地域密着型の経営を目指す。

スパンの長い商品に

しっかり取り組む

井上さん

音響↓デジカメ↓IT↓スマホと当社を取りまく環境はどんどん新しくなり、時代の変化が速すぎる。

スパンの長い商品として、半導体の微細化

にしっかりと対応していく必要がある。

きめ細かいサービスを

心がける

木嶋さん

以前から見ると、周りのガソリンスタンドも減ってきている。

お客さまに足を運ぶでの商売、お客さまとの密着度をさらに高めて、きめの細かいサービスを心がけていく。

まちづくりについてご意見をお聞かせください。

小中一貫校に

無料の塾機能を

井上さん

町の施設が点在し人が集まる工夫が足りない。

道の駅は、町の宣伝機能を果たしていない。

小中一貫校は大賛成。一貫校に無料の塾機能を付け学力をさらに高めれば、教育に熱心な町として評価が上がり、移住のきっかけにもなるのではないかな。

河北町の立地を活かして

木嶋さん

空港やJ.R、高速道路からも近い割には地価が安い。

農工商やいろいろな分野の皆さんの元気がないと、町全体の活気には結びつかない。

町民の声をもっと

リアルに聞いて

細谷さん

議員の皆さんにはいろいろな会に参加して、町民ともしっかりリアルに意見交換や情報交換をしてほしい。

どのような毎日をお過ごしですか。

思いついたら即行動

木嶋さん

時間は限られているので、思いついたらすぐ行動するようにしている。

ホットヨガやピラティスに挑戦したり、アナウンスの講習会に参加したり、自分磨きをしている。

5人のパパ

子育て真っ最中

細谷さん

子どもが5人いるので、毎日、子育てでバタバタしている。

人口増で町に貢献しているのではないかな。

週1の休みを有意義に

井上さん

昔からの癖で、朝7時から夜8時まで会社にいるので、最近では、必ず週に1日は休むようにしている。

休みの日には、妻と日帰り旅行に行ったり、30年前に買った電子ピアノの練習をするなどしている。

町や議会、議会だよりなどへの意見や感想をお聞かせください。

町の文化のPR

もっとうまく

木嶋さん

議会だよりは、いろいろな工夫されていて読みやすい。

町への意見としては、河北町ならではの文化が数多くあるの



議会だよりは情報源

細谷さん

議会だよりは、最近の町の動きや問題を知る情報源なのでぜひ読んでほしい。

高校入学時に支援を

井上さん

議会だよりは一問一答方式でわかりやすく読みやすい。

町や議会への意見としては、子育ては、特に高校進学の際から出費が大きくなる。

高校入学時の制服類や教科書等の無償化をサポートできないかな。

9月議会
2日～12日

9月定例会が開催され22件の議案が提案されました。
吉田芳美議員を決算審査特別委員会委員長に選出し令和5年度の決算が審査され、そのおもな質疑を4～7Pに紹介します。
補正予算や条例案についての質疑は8～9Pで紹介しています。
議案のおもな内容と、議員の賛否一覧は10～11Pで紹介しています。

学童クラブ利用希望者 全て受け入れ

問 放課後児童クラブの運営委託について、町内各クラブのあずかる児童数に大きくバラつきがあり、バランスがとれた児童数に改善すべきと考えるが、現

状をどのように捉えているのか。

学校教育課長 児童数の割合はそれぞれの事情によるところがありいたし方ないと捉えている。



学童クラブの子どもたち

なお希望する児童はすべて受け入れている。

適正な保育環境を維持

問 認定こども園補助金はどのような内容か。

また保育士の人数はどう配置されているか。

こどもみらい課長 か

ほくあいこども園運営事業者の社会福祉法人敬愛信の会へ1075万円、ひなのこども園運営事業者の社会福祉法人平和春秋会には、1077万円の補助をそれぞれ行なった。

問 保育士の配置数では、あいこども園は必要な保育士数16名に対し21名、ひなのこども園は、必要な保育士数13名に対し17名を、それぞれ配置している。



多くの親子連れで賑わうういもこ列車

にぎわい創出に いもこ列車の公開増を

問 いもこ列車一般公開事業は、令和4年度と比較しても、1日平均156名から247名と大幅に増加した。

都市整備課長 令和5年度は9回実施した。機関士さんは高齢であるが、助手として町の職員も対応していることもあり、天候に左右される事業ではあるが、公開日の設定は各方面から検討させていた。

このことから町へ人の流れをつくる、有効な施策かと考えるが、今後公開日数を増加させる考えはあるか。

町産アーモンド

約40kgを収穫

問 町産ナッツ類の生産に取り組んでいるが、収穫や試食など生産状況の進捗はどこまで進んでいるのか。

農林振興課長 令和5年度は、アーモンドを約40kg収穫できた。主に東京方面のレストランなどへ出荷、料理で消費された。

ふるさと納税 フルーツ定期便が人気

問 ふるさと納税寄付金額は、前年度と比較し約9300万円の増加となっているが、要因は何か。

商工観光課長 前年度と比較し寄付件数は、3500件以上増加した。令和5年度は、初めて旬のフルーツ定期便の商品化をし、大人気だった。

内容は、年間8回にわたり、さくらんぼ、桃、ぶどう、メロンといった果物定期便の返礼品を10万円で設定した。その寄附額約2億4000万円分の返礼品が取り扱われた。

新たな返礼品が功を奏したことが増加の要因と分析している。

指定管理者は

利用者増に努力を

問 施設の指定管理費は、民間の活力を生かし施設の利用者の増加を図ることにより収入が増加、そのことが指定管理費の減額に結び付くと考えるが、ここ数年指定管理費自体、増加傾向にある。

やむを得ない事情があることは理解できるが、費用を減額していく努力も必要と考えるが見解は。

企画財政課長 人件費、

燃料費、光熱費の高騰など指定管理者側の責務ではない事情が費用増加に影響している。

指定管理制度上、民間の活力を生かし、利用者増加を図ることは必要であり、各指定管理者側は利用者増加に努力していると感じている。



大人気のフルーツ定期便

米不足は転作が要因では 徐々に回復へ



町内では稲刈りの作業が進む

問 昨今の米不足はこれまでの転作が要因と考えるが、どのように評価しているか。

農林振興課長 米不足

の主な要因は、米自体の作柄が不調だったことと、必要以上に米の買い占めが起こったことが、米不足に至って

いるが徐々に回復に向かうとの推測がされている。

今後、同じようなことが起きた場合は国への要望書提出を視野に入れ進めて行く。

移住定住イベントを

再検討

問 ふるさと回帰支援センターを活用した移住定住などのセミナーが当初予算では計画されていたが、実行されなかった理由は。

くらし応援課長 ふるさと回帰支援センターを利用し移住定住のセミナーを計画していたが、山形県全体でも集客に苦慮している。

町単体でのセミナーを開催することに、集客方法を絞り込めず当初の計画を見送る判断にいたったもの。

現在どのような形で開催できるかを検討している。

さまざまなイベントで 入館者数増加に努めた

問 紅花資料館はコロナウィルス感染症が、5類に移行後、入館者数はコロナ禍前に戻ったのか、団体入館数の把握はされているのか。

商工観光課長 紅花資料館の入館者数は、さまざまなイベントを開催しながら、多くの皆様に来館いただけるよう取り組んだ結果、令

和4年度と比較し約2000人ほど増加した。20名以上の団体数は、40組の結果となった。

コロナ禍前に戻したい

問 紅花資料館の令和5年度入館者数は、12627人だったが入館者数をどのように評価しているのか。

商工観光課長 コロナウィルスが5類に移行後、館内でのイベントを開催し、入館者数増加に努めたが、コロナ禍前に比較しても3000人ほど少ない入館者数の結果となった。

これからもコロナ禍前の入館者数に戻れるよう、運営努力をする。

紅花資料館の

魅力アップを

問 入館者数はイベントに左右され、日ごろの入館者数が少ない傾向にあることから、紅花資料館自体の魅力を

重視、PRすることが重要と考えるが、入館者数の結果を踏まえ、今後どのように運用していくのか。

商工観光課長 山形県花でもあり、県内唯一の紅花の資料館として県内外に周知することが大事であると考えている。

多くの方から入館いただけるようPRが必要だと認識している。

紅花染め作品を

特産品としてPRへ

問 紅花活性化推進事業はどこを目指しているのか。

くらし応援課長 町産の紅花を使用し、染色技術を生かした紅こぎんや紅花染めの作品を制作し、当町の紅花の特産品としてPRしていく。

河北町9月



詳細は次のページから...

効果絶大なべにのすけ公式Instagram

SNSでのPRは

効果絶大

問 観光振興での広告掲載に対する費用対効果は。

商工観光課長 県内外各地へ当町の看板掲示やSNSなどで広告展

開を行った。県内外の方に周知が図られており、SNSでの情報発信も大きな効果が得られている。

町産ワイン

新たな地場産品へ

問 株式会社かほくらし社へ、町内の地域資源を活用した農商工連携事業のワインぶどうの生産者の栽培技術と醸造技術の育成を図るため、補助金を交付しているが、その成果と連携はどのようなものか。

を行った。

成果としては、ワイン945本、数量に換算すると約708ℓの商品化に成功した。

ワインの商品化や

販路拡大に成功

問 町産ぶどうのワイン生産に携わった地域おこし協力隊員の業務目標と実績はどのような

農林振興課長 現地で

の収穫指導と醸造指導



ワイン用ぶどうは一定の収穫が見込まれる

ワイン事業に地域

活性化企業人も派遣

問 地域活性化企業人の負担金の内容は何か。

商工観光課長 ワイン

に携わる事業として東京都内の企業より1名派遣いただいている。

負担金の内容は派遣された方の人件費、業務での移動する際に使用する自動車の借上費が主な内容で、派遣元の企業側と協議のうえ決定した金額だ。

反対

木村章一

町民を守る取り組み

新型コロナウイルスとの闘いで5月に第5類に移行後も、町民の生命と暮らしを守るため奮闘していただき、深く感謝を申し上げる。

給食費の無償化を評価

小・中学生の給食費の無償化は、多くの町民から喜ばれている。

田井の浸水対策急げ

最上川の治水対策で

討論

令和5年度的一般会計決算

賛成

林 智

災害復旧・防災対策と

防災力の向上

押切地区の排水処理施設整備の設計や田んぼダムの整備事業、消防団員の処遇改善、防災設置器材の更新や導入が実施され、町の防災力が大きく向上した。

農工商の振興と

地域経済の活性化

新規就農者の確保と支援、枝豆や大豆の生

小中一貫校に反対

昨年の小学校のあり方検討委員会の答申で、小学校の1校統合には、たった11%のアンケートだった。

しかし、一方的な意見を重ね、小学校を1校に統合、さらに小中一貫校という教育委員会の基本計画(案)になった。町民の多くが小学校統合と、小中一貫校に反対している。

以上決算に反対する。

持続可能な社会の

構築に向けて

再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入への支援が進められ、持続可能な社会の構築に向けた具体的な行動が取られた。以上決算に賛成する。

9月定例会の補正予算、条例改正などについての質疑を紹介します。

無理な予算案 指摘は受け止める

問 指摘されて、パブリックコメント関連の、債務負担行為（年度をまたいで契約などをすること）は予算案から削除しているが、間違っていることが分かっていて、無理な補正予算を議案として出した

答 ことは、議会と町民を軽視するつもりでもないことだ。

議案の提案者としてケジメをつけるべきだ。
町長 ていねいに手順を踏んでいく。

指摘はしっかり受け止めたい。



押切の排水機場は改良が進んでいる

パブコ真つ最中の 予算先行はダメ

問 教育委員会の事務局費の中に、まだパブリックコメントで意見公募の真つ最中の「基本計画（案）」が、認められない。

答 学校の提案者として他の経費に充当する予算だ。

押切地区排水機場の 排水路をしゅんせつ

問 緊急しゅんせつ推進事業とはどんな事業か。

時々やる必要がある事業なのか。

都市整備課長 押切地区の排水機場で、堤防の下を抜けて最上川に流す水路に、泥が溜まって流れが悪いので、しゅんせつする。

泥が溜まれば、時々はやる必要がある。

路線バスのあり方に 全町民アンケート

問 町営路線バス関連の補正予算は、どんな内容か。

生活環境企画主幹

路線バスの補正は、委託先の経費や人件費が高騰していて、それに対応するため。

ほか、町営路線バスなどのあり方について、全町民アンケートをする予算だ。



利用者が増加傾向にある路線バス

谷地高アドバイザーに パソコンを準備

問 谷地高支援費は、どんな内容か。

学校教育課長 谷地高の魅力発信アドバイザーが、自分のパソコンで、谷地高のいろいろな活動を紹介する魅力発信の活動をしていたので、パソコンを準備するもの。

さくらんぼ不作支援 高温障害対策に補助

問 今年のさくらんぼ農家は、半分以上の収穫で大きな打撃を受けている。

どのような支援を行うのか。

農林振興課長 さくらんぼの高温障害対策で、県の対策に町も上乗せし、やまがた紅王の雨よけハウス設備を増やす支援をする。

国保で葬祭具

現金のみの支給に

問 国民健康保険に加入している者の、葬祭具支給をすべて現金にするとのことだが、状況はどうなのか。

税務町民課長 葬式の時に葬祭具を現物で支給したのは、平成30年が最後だった。今後は、現金のみの支給にしていく。

高齢者の居場所事業

暖房器を更新

問 高齢者居場所づくりの追加予算はどんな内容か。

健康福祉課長 2か所の高齢者の居場所事業として使っている施設の利用者から要望があり、暖房器の更新関連の予算だ。

認定こども園への 移行を取り止め

問 認定こども園移行支援事業補助は、2億5000万円が減額補正になっている。どんないきさつと内容か。

こどもみらい課長 町内の幼稚園が、認定こども園に移行する計画だったが、昨今の情勢から、移行を取り止めとした。

ひなの湯サウナの 水風呂は11月頃復調

問 ひなの湯の管工事の内容説明を求める。現在はどのように対応しているのか。

いつ頃に、通常ペースに戻るのか。

商工観光課長 8月中旬に、サウナの水風呂がぬるいと指摘を受けた。

業者と相談し、対応を始めたが、町財政の予備費には十分な金額がなかった。

空冷チラーは、受注生産なので、議決をいただいてから入札をして、工期は11月から12月になる見通しだ。当面は、サウナの水



水風呂用水温冷却装置のチラー装置制御盤

風呂にはぬるすぎるが、水道水の水温25℃から27℃で対応している。

補足の定額減税は 9月下旬以降給付

問 定額減税の補足給付金とは何か。

いつ頃の給付になるのか。

生活環境企画主幹 初めの段階は、推計した町民の所得額から計算して定額減税をした。

その後、申告で所得が確定して、新たに支給が必要になった町民に、補足して支給する。議決いただくと、直ちに作業を進め、封書を送る。

振込先などを確定していただくと、すぐに手続きを進めて、9月下旬から10月上旬には給付したい。

ひなの宿の宿泊費 上限を8000円に

問 ひなの宿の宿泊利用料の見直しはどのようなのか。

商工観光課長 ひなの宿は、高い宿泊率なのに採算が厳しいので、一般の利用者について



次年度より料金が改定されるひなの宿

宿泊利用料の上限を、来年4月より4800円以内から8000円以内に見直しする。

繁忙期は、2割増の利用料まで可能としている。

審議結果 議員の賛否一覧

<9月定例会> 議第47号、48号は 令和6年7月1日臨時会

賛成…○ 反対または棄権…● 欠席…欠
(議長は採決には加わりません)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号													
		議決結果	1 安達 智勇	2 漆山 光春	3 安孫子 真弥	4 東海林 信弘	5 石垣 光洋	6 増川 憲一	7 木村 章一	8 佐藤 修二	9 鈴木 英友	10 林 智	11 奥山 英幸	12 吉田 芳美	14 細矢 誓子
47	河北町児童動物園改修工事請負契約の締結 条件付き一般競争入札の結果、升川建設株式会社が2億526万円で落札 河北町児童動物園改修工事一式の工期は、令和7年3月28日まで	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	電子黒板の取得 4社による指名競争入札の結果、石山商店が1155万円で落札 購入台数は21台で、納入期限は令和6年9月30日まで	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和5年度河北町一般会計歳入歳出決算認定 歳入総額110億3665万円、歳出総額107億2168万円 繰越明許費2297万円 財政調整基金への積立2億3000万円を除く6200万円を令和6年度に繰り越す 新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種、かほくほく応援券の発行 押切地区の内水対策、空き家対策、べにのすけタクシーなど	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
50	令和5年度河北町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額19億408万円、歳出総額18億3795万円 国民健康保険基金に3500万円積立、3113万円を令和6年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	令和5年度河北町西里財産区特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額57万円、歳出総額56万円 令和6年度への繰り越しは1万円 根際山沿革碑への案内板の設置、山林保全活動として山検分の実施	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和5年度河北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2826万円、歳出総額2555万円、歳入歳出差引額271万円 歳入歳出差引額は、令和6年度河北町下水道事業会計に全額引き継ぐ	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和5年度河北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額8億3153万円、歳出総額8億721万円、歳入歳出差引額2431万円 歳入歳出差引額は、令和6年度河北町下水道事業会計に全額引き継ぐ	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和5年度河北町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額24億5969万円、歳出総額24億437万円、歳入歳出差引額5531万円 介護給付費準備基金に1823万円積立、3708万円を令和6年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 歳入総額2億6815万円、歳出総額2億6381万円、歳入歳出差引額434万円 歳入歳出差引額は全額令和6年度に繰り越す	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
56	令和5年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定 剰余金の総額8866万円、減債積立金に1563万円、建設改良積立に1600万円 を積み立て、資本金に5702万円を組み入れる	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和6年度河北町一般会計第3回補正予算 歳入歳出それぞれ9819万円を減額、歳入歳出の総額は109億886万円 サン・コーポラス河北のリノベーションの追加、サハトベに花のwi-fiの設置など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年度 「谷地高校生と未来を語ろう」を開催します

河北町議会では、令和6年度は高校生議会に代わり、11月22日に「谷地高校生と未来を語ろう」を実施します。
主権者教育の一環として、生徒それぞれが興味のある題材について議員と意見交換を行い、河北町の町政・議会への関心を高めてもらうことを目的としています。
議会としても普段、話を聞く機会が少ない高校生の率直な意見を聞いて、新たな視点で町の発展につなげられる活動に取り組みます。

※当日は関係者のみの出席となります。



谷地高校生が税務町民課長へインタビュー(昨年度)

第13回 議員と語る会 議会懇談会

今回も、昨年度と同様に、団体等を対象に議会懇談会を開催します。
団体からの希望テーマをもとに、身近な問題や団体等で抱える課題などについて意見交換を行います。
11月に開催を予定しています。



第12回 議員と語る会 議会懇談会(昨年度)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議席番号													
		議決結果	1 安達 智勇	2 漆山 光春	3 安孫子 真弥	4 東海林 信弘	5 石垣 光洋	6 増川 憲一	7 木村 章一	8 佐藤 修二	9 鈴木 英友	10 林 智	11 奥山 英幸	12 吉田 芳美	14 細矢 誓子
58	令和6年度河北町国民健康保険特別会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ3276万円を増額、歳入歳出の総額は18億8733万円 マイナンバーカードのシステム改修委託料の増額など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	令和6年度河北町介護保険特別会計第1回補正予算 歳入歳出それぞれ3707万円を増額、歳入歳出の総額は24億7645万円 介護給付費国庫負担金等の交付金の清算として返還金を増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	河北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 コンビニエンスストアなどに設置されている多機能型端末機から印鑑登録証明書を 取得できることとするため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	河北町一般職の職員の給与に関する条例等の1部を改正する条例の制定 特定の地域に在勤する職員の給与、旅費について所要の規定を定めるため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	河北町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定 コンビニエンスストアなどに設置されている多機能型端末機から住民票などを取得 できることとするため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	河北町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 葬祭具の支給廃止及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための利用等に関 する法律等の一部改正に伴い、条例の一部を改正する必要があるため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	河北町農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 現下の社会経済状況を踏まえ、令和7年4月からの料金改定を見据え、体験型滞在施設 の利用料金を改正する必要があるため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約の制定 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部 改正により、規約の一部を改正する必要があるため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	人権擁護委員の候補者の推薦 人権擁護委員 岸善一氏が、令和6年12月31日に任期満了となるため、同人を適任と 認め、再任を提案	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	人権擁護委員の候補者の推薦 人権擁護委員 横久雄氏が、令和6年12月31日に任期満了となるため、同人を適任と 認め、再任を提案	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	河北町教育委員会委員の任命について 河北町教育委員会教育委員 木嶋真一氏が、令和6年9月30日に任期満了となるた め、再任を提案	同意	(無記名投票により賛成11票、反対2票)												
69	令和6年度河北町一般会計第4回補正予算 歳入歳出それぞれ3887万円を増額、歳入歳出の総額は109億4773万円 べに花温泉ひなの湯の修繕にかかる費用の増額など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 第1号	パレスチナ・ガザ地区の即時停戦に向けた外交努力を求める請願	採択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員発議 第2号	パレスチナ・ガザ地区の即時停戦に向けた外交努力を求める意見書	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8 議員が一般質問

一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

P14・15

奥山 英幸 議員

- ①冬期間の除雪計画について
- ②町内空き家の現状と課題について

吉田 芳美 議員

- ①「マイナ保険証」移行への懸念について
- ②選挙投票終了時間を1時間繰り上げることについて
- ③「さくらんぼ」高温障害の被害状況について
- ④旧町民プール跡地の住宅整備事業が停滞していることについて※

鈴木 英友 議員

- ①児童動物園改修事業と関連した動物のための環境整備について
- ②ドッグランの新設について

P16・17

増川 憲一 議員

- ①産業立地の促進について

細矢 誓子 議員

- ①自治体が行う広報活動について

木村 章一 議員

- ①小中一貫校について、子どもたち自身の意見を聞くべきではないか
- ②小学校6校を統合し、河北中との施設一体型小中一貫校について
- ③町の財政として、新たな土地に1校統合の学校にするのかについて
- ④小中一貫校を進める前に過去の評価と教訓を活かすべきでないか

P18・19

林 智 議員

- ①「ゼロカーボンかほく宣言」の実現に向けた取り組みについて
- ②専門化・複雑化する業務に対応するための人材戦略について
- ③DX推進とICT活用のため公衆無線LAN整備について

石垣 光洋 議員

- ①高齢者の難聴にかかる支援について
- ②都市公園等の樹木の点検・管理について

※印は、質問をしましたが、記事はありません。
左のQRコードを読み込んで、議会ホームページの録画中継をご覧ください。



町政に問題提起や政策提言

意見書

パレスチナ・ガザ地区の即時停戦に向けた外交努力を求める意見書
昨年10月のハマスによるイスラエルへの越

パレスチナ・ガザ地区の即時停戦に向けた外交努力を求める意見書の提出を求める請願
【請願者】
山形革新懇話会
山辺支部（準備会）
峯田 博
【紹介議員】
木村 章一
【審議結果】
総務産業常任委員会で審査の結果、採択すべきとなりました。
その後、本会議で採択となり、追加提案された意見書は可決となりました。

請願審査

境攻撃は、ロイター通信報道によれば、死者1400人、人質240人と多くの市民が犠牲となり、許されるものではない。
しかしながら、人質奪還とハマスの殲滅を理由としたイスラエル軍の攻撃は、病院・学校・難民キャンプ・国連機関や国連施設などにも及び、8月15日現在で、瓦礫の下に犠牲者を含むと、死者は4万人を超え、犠牲者の6割以上が女性と子どもである。
また負傷者は少なくとも9万人超に上っている。
イスラエル軍による攻撃によって無辜の市民が虐殺され負傷し、加えて人道的な危機が深刻化している状況は決して許されない。
イスラエル・パレスチナの双方が批准している国連憲章が定める

紛争の平和的解決や、国際人道法が定める民間人の保護に反するものである。
昨年12月には国連総会決議、今年に入って国連安全保障理事会でも同様の停戦を求める決議が採択されているが、未だ停戦に至っていない。
国連憲章及び国際人道法に基づいて平和的な対話と外交的な解決こそが、この問題を根本的に解決する唯一の道筋だと考える。
日本はパレスチナの国連加盟に賛成しており、国連憲章及び国際人道法に基づき、国際社会と協調しながら、ガザ地区の停戦の実現に向けて、政府に対し一層の外交努力を求める。
記

行うこと。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和6年9月12日
山形県河北町議会
議長 丹野 貞子
衆議院議長 額賀 福志郎 殿
参議院議長 尾辻 秀久 殿
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
外務大臣 上川 陽子 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿

新病院の建設は現河北病院の土地に
河北病院や西村山地域医療提供体制について町議会の取り組みを一部紹介します。
意見書を提出
令和5年12月 山形県に対し「地域住民の利便性が損なわれない持続可能な地域医療提供体制の構築を求める意見書」を河北町議会として提出。
令和6年8月 県知事に対し「県立河北病院の医療機能の確保・充実と西村山地域における基幹病院の整備・強化について」を町長と町議会の連名で提出した。
議員全員協議会
情報分析や協議
令和5年11月 西村山
令和6年3月 西村山地域医療提供体制検討ワーキンググループ最終報告書の検討
4月 西村山地域医療提供体制検討ワーキンググループの検討
公立置賜総合病院の沿革と概要及び財政状況の調査
令和6年12月 山形県に対し「地域住民の利便性が損なわれない持続可能な地域医療提供体制の構築を求める意見書」を河北町議会として提出。
令和6年12月 西村山地域医療提供体制に係る意見書の検討 地域住民の利便性が損なわれない持続可能な地域医療提供体制の構築を求める意見書の提出について
12月 西村山地域医療提供体制に係る意見書の検討 地域住民の利便性が損なわれない持続可能な地域医療提供体制の構築を求める意見書の提出について
令和6年12月 西村山地域医療提供体制に

持続可能な

除雪体制の構築は

連携を密にし

人員確保に努める



奥山 英幸 議員

問 除雪委託に携わる人員の確保を、どう行うのか、現在の見解と計画は。

町長 除雪業者との情報共有や連携を密にし、人員確保に努める。

除雪委託先への

経済的支援は

問 除雪の委託費用は、規定金額の見直しや、時間に捉われない契約、またオペレーターへの人材育成の経費助成など、経済的支援を考慮すべきと考えるが、町の見解は。

町長 除雪オペレーター確保の支援を行い、引き続き除雪体制を確保できるよう、除雪業者などと連携を密にし、取り組んで行く。

空き家持主へどう

アプローチするのか

問 管理が行き届かない空き家の持主にどのようにアプローチを行い適正な管理をおこなえるよう促すのか。

町長 空き家を自分だけのことで捉えず、地域に影響をきたす、大きな問題と捉えていただけよう丁寧な周知、説明を継続していく。

特定空き家の減少を

問 特定空き家を減少させる方法として、現時点での見解は。

町長 適切な空き家管理を含めた社会的責任を果たすことのできるよう、粘り強く説明交渉を重ね、空き家所有者に寄り添い、空き家全体の解消に向け、支援を含めた適切な空き家対策推進を図る。

空き家の再利用は

問 空き家を1戸でも多く活用するための施策は。

町長 制度の周知に努め、空き家バンクへのより多くの登録につながるよう、働きかけていく。



町内施設での除雪の様子

さくらんぼ
高温障害の被害状況は

前年比4割
133トンと半分以下



吉田 芳美 議員

問 高温障害の被害は、
町長 6月中旬にかけ最高気温が30度越えが続き、過熟果で大量の廃棄処分になった。取扱量は133トン前年度比4割、産出額3億6000万円。収穫量減でふるさと納税寄付に対する返礼も品不足で、未発送が692件と、お客様に迷惑を掛けた。お詫び

して桃などの果実代替発送で対応している。うるみ等のクレームも242件いただいた。

現行保健証あと3カ月
廃止強行は無理がある

問 現行保険証を廃止しマイナ保険証に切り替わる。

高齢者は病院窓口の対応に不安を抱える。

町民のマイナカード取得状況と持たない方への対応は。

町長 申請任意のため交付枚数1万3314枚交付率78・9%だ。カードのない方には、申請手続きすることなく、資格確認証が継続して交付される。

選挙投票時間を

1時間早めること

問 投票時間午後8時を午後7時にすること。公職選挙法で投票の終了時間を繰り上げすることは可能である。

動物園の

飼育環境の整備計画は

状況に応じ必要な対応

対策を施す



鈴木 英友 議員

商工観光課長 今のところ空きスペースや対応できる檻等もないため考えていない。状況に応じて対応していく。

ドッグランの設置

町長の考えは

問 ドッグランの必要性をどう考えているか。

町長 ペットを飼う住民にとって、安心して犬を遊ばせることができる場を提供し、住民間のコミュニケーション形成を促進するという意義がある。

また、広い意味でのレクリエーション環境づくりとして、町の魅力向上にも寄与すると思われる。

中央公園に

ドッグランの設置を

問 一案として、中央公園内への設置を検討してはどうか。

町長 ドッグランは有益な施設となり得ると認識しているが、運営面の課題だけでなく、町の魅力づくりの観点も含め、諸課題を整理しながら検討する必要がある。



さくらんぼ収穫後のひと休み

働き方改革、立会人の負担軽減、職員の経費削減を進め、期日前投票率も考慮すべき。今後、県知事選、参院選、衆院選もある。河北町選管の考えは。

選挙管理委員会書記長 令和5年度の町議会

選挙結果は、投票者が9459人、期日前は5974人(36%)だ。午後7時以降の投票は108人(1・8%)だ。これらを踏まえ慎重に議論を進めている。



リノベーション予定の児童動物園

新規工業団地の造成は
問 産業団地の開発に要する期間は、一般的に3年から6年程度と見込まれる。花ノ木工業団地分譲率が6年後の令和12年度100%になる事を想定し、産業団地の開発を進める時期と考えられる。町の考えは。

町長 工業団地の増設や新設を進めるためには具体的な分譲見込みや、場所の選定、地下水、住宅地との関係といった工業立地適地調査など、さまざまな検討が必要である。

第8次河北町総合計画の目標達成を目指し、分譲状況を見据えながら、河北都市計画マスタープランにおける位置付けを整理し、検討すべき大きな課題である。



花ノ木工業団地の案内文書

花ノ木工業団地 分譲率100%を
問 第8次河北町総合計画にある花ノ木工業団地分譲の最終目標年度での達成に向けた取り組みは。

町長 現在の分譲可能面積は3区画で1万7533平方メートルとなっており、昨年7月に1区画の分譲申込中



増川 憲一 議員

産業立地の促進 具体的に検討を

検討すべき
大きな課題である

請をいただいたが、申込事業者の諸事情により契約締結までは至らなかった。

今後は、首都圏や京圏で開催されるビジネスセミナーへの参加や、工業団地連絡協議会との情報交換、リサーチ会社及び金融機関からの情報提供を通じて、誘致活動を積極的に行う。

町内企業の増築及び新築移転用地は

問 谷地工業団地分譲率100%、花ノ木工業団地分譲率約90%と高く、谷地工業団地をはじめとする町内の既存企業が、増築や町内に新築移転する場合の対応は。

町長 花ノ木工業団地の分譲率100%に向けて進めていく。花ノ木工業団地に用地を取得し操業した事業者に対し、用地取得補助と、



細矢 誓子 議員

障がい者や外国人に 配慮した広報

音声読み上げソフト
自動翻訳で対応

問 障がい者や外国人に配慮した広報活動について。

町長 アクセシビリティを考慮した広報活動は、地域社会の包括性と共生性を高め、町民参加と連帯を促進する役割がある。

「声の広報」は、社会福祉協議会に委託して実行していたが、中止になった。

視覚障がい者の方々には音声読み上げソフトや読み上げに適したホームページづくりに努める。



木村 章一 議員

法に従い 子どもたちの意見を聞け

子どもは反対だから
意見聞かない

自分の学校に愛着を持つように指導しているので、統合などに反対が予想される。

委員会では、子どもたちに意見を聞かないことにしたとのこと。

中一ギャップは無い 小中一貫校は間違い
問 アンケートで1校統合は11%だ。

複式学級があっても小規模校の方が子どもたちのためになる。

中一ギャップは河北町内にはないとの説明があった。中一ギャップを口実にした、小中一貫校は間違いだ。

町長 アンケートではばらつきがあった。あり方検討委員会からは1校統合と、中学校との一貫した教育活動を、との答申だった。

小中一貫校は 町財政に大きな負担
問 小学校統合や小中



建設後21年でまだまだ使える谷地中部小学校

地域外へ 本町の魅力発信の強化
問 本町の広報活動の推進方針は。

町長 町の魅力を発信する事も極めて重要だ。定住促進や観光誘客などの地域間激化が盛んで、町外への情報発信の強化が大きな課題だ。町の魅力発信強化を方



近隣の自治体広報誌

一貫校建設は、大きな財政負担ではないか。

さらに地方交付税の収入は毎年6000万円も減ることになる。

学校施設は学校として使うべきではないか。

町長 統合学校には、2分の1補助がある。地方交付税の収入は、学校数が1校に減少し、算定額が減少する。

河北中の1校統合で 荒れた反省を活かせ
問 46年前に河北中1校に統合した時、荒れた時期が10数年続いた辛い経験を評価、反省して今回の計画の内容に活かすべきだ。

町長 これまでの経験を土台とし、小中一貫校を整備することになぜいけないか、検討が進められている。

「ゼロカーボンかほく」の実現は 取り組みを今後も検討



林 智 議員

問 「ゼロカーボンかほく宣言」後の取り組みはどの様になっているのか。

町長 「第3次離とべに花の里環境基本計画」で環境面での将来像を「持続可能な地域づくり」に挑戦するまちかほく」とし、町民、事業者と共通認識を持ち、地域一体となり環境問題の解決、二酸化炭素排出量の実質ゼロの達成に向け、推進を図る。

環境問題を「自分ごと」と捉え、一人ひとりが意識して取り組むとともに、地域全体で、町全体で取り組むことがより一層の推進につながる。ゼロカーボンの実現に向けた取り組みを今後も検討していく。

社会経験者や地域活性化企業人の活用を

問 専門員や地域活性化企業人制度の活用による業務の効率化と有益性について伺う。

町長 地域活性化企業人制度の活用には、多岐にわたる地域課題の解決について、企業が持つ専門知識や人脈を活用するものである。地域活性化に取り組

高齢者の難聴に支援を



石垣 光洋 議員

動向を注視していく

加齢性難聴の認識は

問 認知症や社会的孤立になるリスクもたかまるという高齢者の難聴への支援を。

町長 定期的に聴力チェックを行うことが推奨されている。補聴器購入のための費用については一般的に支出されている水準の金額は医療費控除の対象になる。

現在、高齢者の補聴器利用による認知機能への影響を検証する研究の段階。動向を注視していく。

公園の樹木の管理は

問 公園の樹木の管理方針は。

町長 都市公園等における樹木については、樹木の年間育成サイクルに合わせて、剪定、施肥、病害虫の防除などを実施している。ナラ枯れにより枝折れの事例があった。倒木等が心配される公園内の樹木を事前に伐採するなどの事故防止対策を実施し、公園利用者の安全安心と樹木の安全性を確保した。樹木管理の委託業者や公園利用者からの情報提供、要望を踏まえ、良好な状態に管理するよう努めていく。

令和5年度決算を認定
河北町ほか2市広域斎場事務組合議会

8月26日 定例会
①令和5年度河北町ほか2市広域斎場事務組合会計歳入歳出決算認定について
収入済額は1億431万円。
支出済額は9650万円。
歳入歳出差引残額、780万円は翌年度へ繰越すもの。

②令和6年度第1回補正予算について
歳入歳出それぞれ780万円を追加し、総額を9292万円とするもの。
③組合監査委員の選任について
監査委員真木吉雄氏の辞職に伴い後任者に河北町監査委員 清野一晴氏を選任する。

令和5年度決算を認定
山形県後期高齢者医療広域連合議会

8月2日 定例会
①令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について
収入済額は8億9359万円。
支出済額は8億1121万円。
歳入歳出差引額は8238万円。

②特別会計歳入歳出決算認定について
収入済額は1613億3828万円。
支出済額は1583億5394万円。
歳入歳出差引額は29億8434万円。
③令和6年度一般会計補正予算について

令和5年度決算を認定
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

7月23日 定例会
①令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について
収入済額は23億5255万円。
支出済額は22億4775万円。

歳入歳出差引残額1億479万円は、翌年度へ繰り越すもの。
②監査委員条例の一部を改正する条例の制定について
地方自治法に新たな条文が追加されたので文言を整理する所用の改正。
以上、提案2議案は、いずれも原案のとおり認定、可決されました。



役場庁舎の駐車場東側にある看板

んでいただける企業とのマッチングが重要であり、人材活用の具体的施策の推進効果を十分精査しながら、制度の活用に取り組んでいく。

無線LAN

公共施設に無料整備を

問 公共施設等の無料で使える公衆無線LANアクセスポイントの

環境整備等が必要ではないか。

町長 デジタルサービスの向上や、リモートワークの促進、災害時における通信手段の確保など重要な取り組みである。各施設における今後の整備の見通しを踏まえながら、住民の利便性向上や災害時の対応に向けた環境整備に努める。



補聴器(イメージ)

問 都市公園・小学校・中学校の樹木の管理状況は。

町長 河北中央公園を含む18公園及び役場前の河北公園については業務委託で、薬剤散布、除草作業、芝生地施肥、選定作業、刈込・抜根作業などを実施している。

高木については、樹木の育成上、問題のない範囲で剪定を実施している。

学校では小枝の除去など業務員が日常業務で行っている。

人口減少対策に ついでに調査

総務産業常任委員会

秋田県羽後町では、「まち・ひと・しごと創成総合戦略（羽後町版総合戦略）」を策定し、人口減少や地域経済問題の脱却に向けた取り組みを長期的視点を持った施策の展開が必要であるとの考えをもとに進めています。

まとめ

- ・域外消費拡大による町内企業の活性、起業支援の充実を図る。
- ・人と企業のマッチングを推進する。
- ・6次産業化の拡充・推進強化。
- ・人口の社会増や自然増および交流人口の拡大につながる持続的な町の活性、少子化対策を進めるべきだと感じました。

商工業振興についでに調査

秋田県横手市では、市内産業の育成・支援、



- 市街地の活性化、若者の地元定着など、商工業のさらなる振興と雇用の安定化を図ることを目的として、商工業振興計画を平成31年3月に策定しました。
- 計画の基本方針は
- ①地元事業者を元気にする
 - ②まちを元気にする
 - ③新たな雇用を生み出す
 - ④人材の育成と確保を支援する
 - ⑤個々に合わせた働き方を支援する
- というものでした。

まとめ

安心して住み続けられる環境を作り、産業の育成・支援・町の活性化や若者の地元定着など解決しなければならぬ課題に向きあい、町づくりを進めていくべきと感じました。



オンライン会議の 導入は大変有効

議会運営委員会

岩手県平泉町では各委員会、会議規則等の改正を機に、オンライン会議を積極的に活用しており、コロナ禍において各委員への配信による情報共有など、議会機能の強化につながっています。

タブレット導入による効果が非常に大きいとのことでした。

オンライン会議については、セキュリティ対策などの規則を検討して、災害対応として

のオンライン会議は大変有効であるため、導入を検討するべきと考えます。

平泉町では、災害等の発生、感染症の蔓延防止措置等又は育児介護等のやむを得ない事由により、委員会を開会する場所への委員等の参集が困難であると委員長が認める場合は、オンラインでの会議出席を認めています。

議会モニターは検討項目残る

議会と町民との連携を図るうえでは、議会モニター制度はとも効果のある方法だとは考えられますが、視察をさせていただいた岩手県栗石町では、モニターのなり手が少なくその募集に大変苦労されていたりました。

モニターの募集方法の検討が必要になってくると考えられます。

部活動地域移行は 学校と地域の連携重要

厚生文教常任委員会

秋田県羽後町では、部活動地域移行の趣旨を、町公報を活用した町民全体への周知、研修会の実施、各種会議等での説明を行うなど

で幅を広げました。

体育協会総会やスポーツ役員会、中学校運営協議会などの会議で地域移行の趣旨を説明、県コーディネーター派遣事業を活用した地域移行研修会の開催も、地域移行に関わる人材を増やすことにつながりました。

地域との連携が進み、各種競技団体主催の練習と部活動を合同で行うなどの活動拡大に結び付き、各年代が同じ種目に取り組む世代間交流が実現しました。

まとめ

部活動の受け皿となる団体の運営体制を確立させ、地域移行の推進を図らなければならないが、学校と地域の



指導者との連携により、指導方針の統一化が重要と感じました。

総合的なまちづくりを考慮した小中一貫教育

秋田県小坂町では、平成25年度から併設型小中一貫教育校がスタート、12年目を迎えています。

合同行事は、小学校と中学校の児童生徒が自然に交流しあう地盤ができており、小中一貫教育校のメリットを最大化した成熟期にあっています。

まとめ

各地域・各種団体へのわかりやすく丁寧な説明が必要で、総合的なまちづくりを念頭に学習環境と教育施設を充実させることと、教員の指導力向上、負担軽減を考慮しなければならないと感じました。

議会だよりの 特性を生かす

広報広聴常任委員会

全世帯に配布され興味無いと読まれない

7月にグラフィックデザイナーの方から「広報制作の基本ポイント」を学ぶ機会があり、議会が果たすべき役割を、紙面にしっかりとあらわしていきます。

手に取ってじっくり情報量が多い

特性②は、手に取ってじっくりと読める、情報量が多いということです。

複数の紙面使って記事を構成できる

特性③は、複数の紙面を活用し、スジを立てた記事などを構成できることです。

記録紙として情報を保存できる

特性④は、記録紙として情報の保存機能があることです。

ほかの情報機能に連結して広報できる

特性⑤として、ほかの情報誌やネット情報などに連結できる、広報機能を持っていることです。

例えば、一般質問の案内ページから、インターネット中継のホームページに案内して、連結しています。

違う角度で
決算審査に臨む

奥山英幸 議員

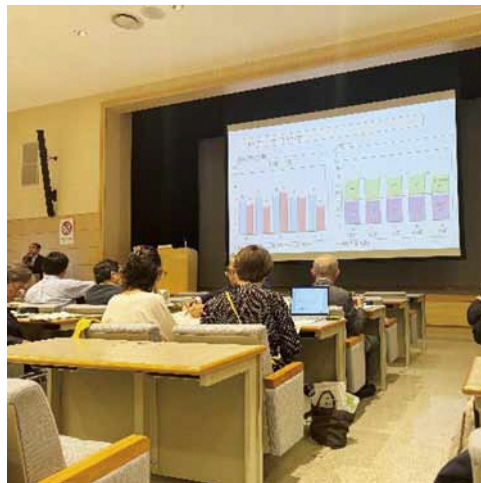
令和6年5月20日、21日の2日間、全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市）で開催されました、自治体決算の基本と実践、行政評価を活用した決算審査の研修会に、個別に受講しました。

交い、熱量が高い研修会となりました。

初日は、自治体決算についての基本の考え方、実際の決算カードを活用し財政判断の実践対応、2日目は初日を考慮し、行政評価を考慮した、主に決算審査のポイントを受講しました。

研修会では、全国の市町村より私を含めた議員114名が参加、2日間を通して、質問や意見が積極的に飛び

これまでの決算審査の考え方とは違う角度で、当町の決算審査に臨みつつ適正な対応が行われていたか、精査します。



研修会の様子

防災と議員の役割について学ぶ

安孫子真弥 議員
林 智 議員

自然災害は今後も増加します。これまでの考えは通用せず、防災力の強化が不可欠です。特に重要なのが町民同士の交流の活性化です。

非常時には、普段か



大津市の研修所

らの繋がりが連携が不可欠であり、防災訓練や日常的な交流が非常時の混乱を軽減します。

また共助のために「地区防災計画」の策定が必要であり、住民・行政・企業・学校など多様な関係者を巻き込むことが重要です。

避難所の運営には住

民全体の協力が必要となつてきます。避難所を運営するはずだった人も被災者となる可能性があるので、さまざまな役割分担をして避難訓練に取り組み、実際の災害を想定して備えることが不可欠です。

住宅の耐震化や福祉避難所の整備も進めるべきです。能登半島地震では耐震性不足の住宅が多く損壊したが、本町も同様の危機に備える必要があります。

福祉避難所の受け入れ体制や要介護者、障がい者への配慮も、地域全体で取り組むべき課題です。

応急対策期の行政とのやりとり等においては、情報一元化の下、積極的な情報の収集・提供、地域活動が求められるため、議会BCP（事業継続計画）の整備で効果的な対応を図り、また議員からの要望活動等にはルールを設けるべきです。

若者が地域活動へ参加したくなる環境作りが必要です。人を健康で幸福にする要因は良い人間関係に尽きるため、町としても積極的に取り組むべきです。

信頼関係のある人からの声かけが、ポイントです。

紅染め体験 予約なしでできないか

徳島県藍住町で総務産業と厚生文教常任委員会は、6月27日と28日に合同の視察を行いました。

藍染め原料づくりの

資料館立上げ

藍住町では、藍染めに使うすくもづくり施設を、藍の館とは別のあいずみ藍工房を立ち上げ稼働しています。

徳島県では現在も、工業的に藍染めの原料になるすくもを、全国消費量の9割まで生産しています。

藍住町ではその一部を資料館的に生産する施設を立上げ、数名の職員と3人の協力隊員が取り組んでいます。

すくもづくりは

紅餅の10倍の労力

実際に藍染めに使うすくもを作るため、タデ藍を3000坪の農地で栽培し、あいずみ藍工房ですくもを作っています。

すくもづくりは、農地から取入れした後、1年間を通して乾燥や発酵の工程があり、紅花の紅餅づくりの、10倍ほど労力がかかりそうです。

藍の館は藍染め体験が
集客力のポイント

藍の館では、藍染め体験が魅力であり、一番の集客力となっています。

藍染めでは染液の壺を複数用意して、交互に染液を調整して、常時の体験染めに対応

紅染め体験は
予約なしでできないか

紅花資料館でも、紅染め体験は人気があるが、数日前からの予約がないと対応できない問題があります。

紅餅から染液を抽出して、紅染めができるようになるまで時間が必要で、さらに紅餅が高価なために、体験染めする人数をあらかじめ確定しなければならず、紅花資料館に寄っ

たついで、予約なしの紅染めが体験できない現状があります。

付着保存法の

活用の研究を

一方で、染液に紅染めの成分が残った場合、木綿などの布にその成分を付着させて乾燥保存し、次回の紅染め体験の際に染液に取り出して活用しています。

染液からあらかじめ保存布に付着させておいて、急な体験者の増減に対応し、予約なし

藍住町の

人口対策に学ぶ

藍住町の高橋秀夫町長から、藍住町の人口対策などについて基調報告をしていただいた。

55年間で1万人から
3万5千人に激増

藍住町は、1955年の合併時から1970年まで、人口は1万人程度で推移しました。1975年ころから人口が増え始め、河北町と友好都市になった1992年ころには2万6000人となり、2020年には3万5000人を超えました。

まさに今が

藍住町人口のピーク

2024年の現在、3万5350人でまさに人口のピークで、2050年には3万人に

なるとの推計が示されています。

ベッドタウン化と

土地の用途指定なし

藍住町の分析として、人口増の要因は徳島市に隣接し、ベッドタウン化が進んだことです。

また、市街化区域・市街化調整区域の線引きがなく、用途地域の指定もないため、宅地化需要に対応する形で、宅地開発が盛んにおこなわれました。

狭い面積に学校が多く通学がしやすいです。借家割合は28・7%と河北町の10・6%を大きく上回っています。

働きやすい職場と

暮らしやすい住宅

河北町でも、働きやすい職場づくりと通学対策、学校が近くて暮らしやすい借家や宅地の提供が必要ではないでしょうか。